

かきょう 海洋プラスチックごみに かんが ついて考えよう



出典：海洋プラスチックごみについて考えよう Vol. 1
(公財)世界自然保護基金ジャパン
全国川ごみネットワーク
(公財)日本野鳥の会
容器包装の3Rを進める全国ネットワーク



出典：環境省 平成29年度漂着ごみ対策総合
検討業務 海洋ごみ学習教材 小中学生用



3市町村で、ごみのリサイクルについて、真剣に考えています

諏訪南リサイクルセンター



資源物9種類 19品目と不燃物、粗大ごみを処理する施設

運営：茅野市・富士見町・原村(諏訪南行政事務組合)

令和3年10月稼働予定

できることから
はじめてみよう！



かいよう 海洋プラスチックごみ

マイクロプラスチック なんて何？



出典：環境省 平成 29 年度漂着ごみ対策総合
検討業務 海洋ごみ学習教材 小中学生用



荒川河口近くの護岸にたまる
マイクロプラスチック

出典：海洋プラスチックごみについて考えよう Vol. 1
(公財)世界自然保護基金ジャパン
全国川ごみネットワーク
(公財)日本野鳥の会
容器包装の3Rを進める全国ネットワーク

かいよう 海洋プラスチックごみとは・・・

わたしたちが使っているビニール袋やペットボトル、使い捨て容器などは、便利なものとして多くの人に使われています。しかし、それはごみとなり、ポイ捨てや適切な処理をされないことで、風や雨などにより河川や海に流れ込み、海洋プラスチックごみとなります。その量は、世界中で年間800万トンとも言われ、何も対策をしなければ、2050年には、プラスチックごみの量が、魚の量を上回ると言われています。

マイクロプラスチックとは・・・

大きさが5mm以下の小さなプラスチックのこと。
海に流れ出たプラスチックは、太陽の光や海の塩分でもろくなり、波や砂などによって細かく砕かれてマイクロプラスチックになります。マイクロプラスチックは、有害な物質を吸着しやすく、魚などがエサと間違えて食べてしまい、その魚を人間が食べることで、人体に与える影響が心配されています。

かいよう 海洋プラスチックごみは どこからくるの？

ごみは、川から海へ



イラスト: 容器包装の3Rを進める全国ネットワーク

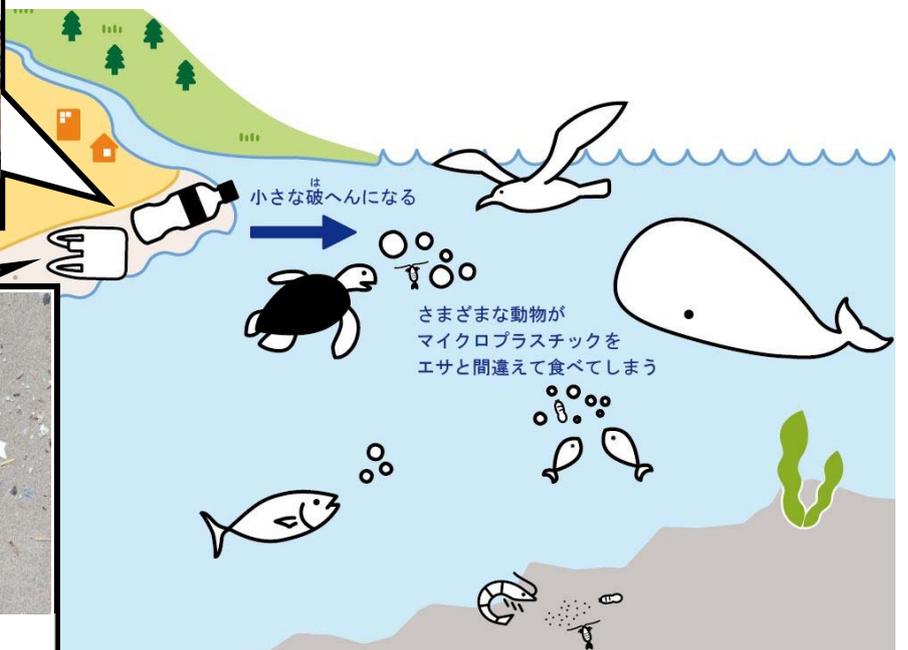
出典: 海洋プラスチックごみについて考えよう Vol.1
 (公財)世界自然保護基金ジャパン
 全国川ごみネットワーク
 (公財)日本野鳥の会
 容器包装の3Rを進める全国ネットワーク



ポロポロになったペットボトル



砂浜で見つかった小さなプラスチック
5mmより小さいマイクロプラスチック



出典: 環境省 平成29年度漂着ごみ対策総合
 検討業務 海洋ごみ学習教材 小中学生用

海洋ごみ問題の解決のために わたしたちにできること

信州プラスチックスマート運動を実施しています！

～プラスチックと賢く付き合しましょう～

長野県・茅野市

今、わたしたちに できることは？

- ◇ ごみをへらす ⇒ 3R
- ◇ ポイ捨てをしない
- ◇ ごみを分別する
- ◇ ごみを捨てる
- ◇ マイバッグ、マイボトルを使う
などが大切！

次の3つを意識した行動を

◇ 意識して「選択」

- ストロー、レジ袋は必要かどうか

◇ 少しずつ「転換」

- マイバッグ、マイボトルへ
- 使い捨てプラスチックから代替品へ
- 詰め替え製品を使ってみる

◇ 分別して「回収」

- 使い終わったプラスチックは、ルールに従い、分けて回収へ

3R (スリーアール) って

- ごみの量を減らす (Reduce)
- くり返し使う (Reuse)
- 再び利用する (Recycle)

R Reduce リデュース
使う資源やごみの量を減らすこと

- つめかえのできる製品を選んで買う
- 必要のない包装は断る
- レジぶくろを断る

R Reuse リユース
ものをくり返し使うこと

- こわれたものを簡単に捨てる前に修理して使う
- いらなくなったものは捨てる前に必要な人にゆずる
- マイししを持ち歩いて使う

R Recycle リサイクル
使い終わったものを資源として再び利用すること

- 古新聞や古紙を資源回収に出す
- リサイクルボックスでごみを分別する
- リサイクルされた製品を選んで使う

「3R」に積極的にチャレンジしてみましょう！